

知内町水産振興計画概要

(令和4年度～令和8年度)

知内町産業振興課

知内町水産振興計画概要

計画策定の趣旨と体系

第6次知内町まちづくり総合計画(H28～R7年度)

～誰もが輝く定住・移住・交流のまち～

1. まちに希望を持ち安心して住み続ける(定住)
2. まちへ新しい人の流れをつくる(移住)
3. まちの資源を生かして賑わいをつくる(交流)
4. まちで結婚・出産・子育ての希望をかなえる(出生)

知内町まち・ひと・しごと創生総合戦略(R2～R6年度)

知内町水産振興計画(R4～R8年度)

基本方針 「稼ぐ漁業と豊かな海の形成」

知内町まちづくり総合計画に基づく5本の柱

1. 漁業基地の充実
2. 漁業資源の増大と増養殖漁業の推進
3. 漁業系廃棄物対策
4. 水産物の販路拡大・付加価値向上対策の推進
5. 強い漁業経営基盤の構築

計画期間内に特に集中的に取り組むべき対策を、「重点プロジェクト」と位置づけ施策を展開

1. 「活力ある浜の実現」
2. 「豊かな海づくり」
3. 「漁家経営の安定化」

人口減少対策

こおごて連動

水産振興に係る基本施策の方向性

対象期間

令和4年度～令和8年度 5年間

評価の方法

毎年度事業ごとの検証・分析・評価を実施

第6期知内町まちづくり総合計画を基本とした、水産振興に係る基本的な5本の柱

1 漁業基地の充実

【主な施策】

① 漁港の整備促進

- ◆安全な漁業活動を確立するため、地域水産物供給基盤整備事業により漁港整備の促進を図ります。

② 流通施設の機能向上

- ◆水産物の付加価値を増大し、安全な食品を安定的に販売するため、畜養施設及び流通施設の機能の拡充を進めます。

③ 公衆衛生施設の整備

- ◆安全な漁業活動を確立するため、地域水産物供給基盤整備事業により漁港整備の促進を図ります。

2 漁業資源の増大と増養殖事業の推進

【主な施策】

① 魚礁事業の推進による漁場開発

- ◆魚類の蝸集と増殖を促進するため魚礁の整備を進めます。

② 増養殖事業の推進

- ◆沿岸資源の増大を図るためタコ産卵礁の整備を進めます。
- ◆資源の恒常的な安定と増大を図るため、ヒラメ、クロソイ、ウニ、アワビの人工種苗放流を進めます。
- ◆養殖漁場の拡大に向けて、養殖係留施設の新設を進めます。
- ◆新たな増養殖魚介類の導入の可能性を探るため、実証試験を進めます。
- ◆生産性の高い新たな養殖漁業の確立に向けて「水産種苗中間育成施設」の改修を図ります。

③ 藻場の保全と漁場管理の強化

- ◆藻場の保全を図るための活動を実施します。
- ◆増加する組織的な密漁に対応するため、専任監視員による漁場監視を徹底します。
- ◆海洋生物の保全を図るため、海生ほ乳類の出現動向・行動監視、汚濁、不審船等水域監視活動を行います。
- ◆海水温上昇による漁獲不振に対応するため、漁場環境データの収集・解析を進め、必要な対策を検討します。

3 漁業系廃棄物対策

【主な施策】

① 漁業系副産物・廃棄物の適正処理と二次利用促進

- ◆廃棄物（残渣など）の適正で容易な処理方法を検討します。
- ◆貝殻を利用した魚礁の開発に努めます。
- ◆異業種間との連携により、多目的利用の可能性を検討します。

4 水産物の販路拡大と付加価値向上対策の推進

【主な施策】

① 直販体制・流通対策の強化

- ◆マーケットリサーチの実施、市場情報の把握に努めます。
- ◆消費者ニーズに対応できる体制づくりに努めます。
- ◆水産物直販施設の開設を検討します。
- ◆流通対策として、シャーベットアイス製造システムの整備を検討します。

② 付加価値向上とブランド化の推進

- ◆消費者ニーズに対応した製品づくりに努めます。
- ◆製品の積極的なPR活動に努めます。
- ◆消費者の産地見学会を実施します。

③ 産地情報の発信強化

- ◆HP・TV・ラジオ等を活用して産地情報の発信に努めます。

5 強い漁業経営基盤の構築

【主な施策】

① 漁家経営の安定化

- ◆生産性の高い養殖漁業を推進するため、養殖施設の整備を促進します。
- ◆つくり育てる漁業を推進するため、採苗・放流等の試験事業を推進します。

② 担い手・後継者・新規就漁者の育成

- ◆担い手・後継者の確保を推進し、新規就漁者の受入体制を構築するとともに、更なる支援策について検討します。
- ◆担い手・後継者を中心に漁業技術の取得、漁業経営の研修等を支援します。

③ 安全・安心な就労環境の整備

- ◆過酷な労働環境を克服できる漁業就労環境の整備に努めます。

1章 水産振興計画策定に向けて

- 1 計画策定の趣旨と性格
- 2 計画の期間
- 3 計画の構成



2章 知内町の漁業の現状

- 1 知内町の漁業
- 2 漁業経営状況
- 3 漁業生産状況
- 4 知内町の漁港



3章 課題の抽出と整理

- 1 漁業の生産環境
- 2 つくり育てる漁業
- 3 漁業系廃棄物
- 4 水産物の消費・流通
- 5 漁業就業者の確保



4章 水産振興対策

- 1 施策の体系とその方向性
- 2 重点プロジェクト

重点プロジェクト

計画期間内に特に集中的に取り組むべき対策を「重点プロジェクト」と位置づけし、施策を展開する

I. 活力ある浜の実現プロジェクト

- 漁業施設の維持・整備
 - ▶ 漁港の整備
- 販売力強化・販路拡大
 - ▶ ふるさと納税返礼品の充実
 - ▶ 情報発信の強化
 - ▶ イベント・催事への参加
 - ▶ 商品の付加価値向上
- 新たな事業展開
 - ▶ 新魚種種苗生産の検討
- 各地区の課題解決
 - ▶ 牡蠣剥き機の導入
 - ▶ 塩蔵ワカメ製造施設の改修
 - ▶ コンブ共同乾燥施設の整備

II. 豊かな海づくりプロジェクト

- 漁場環境の保全・改善
 - ▶ 漁業廃棄物対策
 - ▶ 藻場の保全・造成活動
 - ▶ ブルーカーボンの取組
- つくり育てる漁業の推進
 - ▶ 種苗の生産・育成・放流
 - ▶ 密漁防止対策の強化
 - ▶ 魚礁の設置
 - ▶ 漁業技術習得のための研修
- スマート漁業の推進
 - ▶ 漁業データベースの構築
 - ▶ 水中データ取得による漁業の効率化

III. 漁家経営の安定化プロジェクト

- 漁業者の経営安定
 - ▶ 既存魚種の増産と安定化
 - ▶ 省力化・生産コスト削減
 - ▶ 新規魚種の検討
- 漁業関連施設及び機器の整備
 - ▶ 種苗施設等の維持・整備
 - ▶ 製氷施設の維持・整備
- 担い手の育成・確保
 - ▶ 後継者対策支援
 - ▶ 技術・資格取得支援

I. 活力ある浜の実現プロジェクト

【主な取組】

①漁港の整備

◆漁業生産基地となる漁港の整備について、積極的に北海道へ要請を行います。

- ・ 中の川、知内漁港（小谷石）の越波対策
- ・ 各漁港内に堆積した土砂の浚渫
- ・ 知内漁港（涌元地区）中央ふ頭作業場への天蓋施設の整備

【主な取組】

②販売力強化・販路拡大事業

◆魚価が低迷し不漁も続く中、安定した販売収入を得るため多様な販売方法を検討し、販売力の強化を図ります。

- また、地域関係者が一体となって水産物のブランド化、消費拡大へ向けた取組みを推進します。
- ・ ふるさと納税返礼品の充実
 - ・ 情報発信の強化
 - ・ イベント参加による、町の水産物のPR

【主な取組】

③新事業の検討

◆海洋環境の変化等による漁獲の減少が続く中、天然魚種に依存しない、つくり育てる漁業の推進の核となる新たな事業を検討します。

- ・ 新たな魚種の種苗生産試験事業

【主な取組】

④カキ剥き施設の整備

◆中の川地区の主力である養殖カキについて、高単価での販売や消費者ニーズに対応するため、剥き身での出荷を増やす必要がある。しかし、漁業従事者の高齢化や技術を有する剥き子の減少等により、カキ剥き作業者の確保が課題となっている。

- ・ 自動カキ剥き装置の導入・施設整備の検討

【主な取組】

⑤塩蔵ワカメ製造施設の整備

◆涌元・前浜地区を中心に行われているワカメの養殖について、塩蔵ワカメに加工するための施設と機器の再整備を行い、塩蔵ワカメ製品の生産増加・出荷体制の再構築をし、漁業者におけるワカメ生産量の向上及び漁業経営の安定化を図ります。

- ・ 塩蔵ワカメ製造施設の整備及び機器増設の検討

【主な取組】

⑥共同施設の整備

◆小谷石地区の主力である養殖コンブについて、地区の漁業従事者の減少・高齢化により、労働力の確保に苦慮している。そこで、集落内での組合員共同施設を整備し、労働力の確保と生産コストの削減を図ることで、経営の安定化を図ります。

- ・ 養殖コンブの共同乾燥施設の整備検討

Ⅱ. 豊かな海づくりプロジェクト

【主な取組】

①漁業系廃棄物対策

◆漁業への影響が懸念される海洋ごみや、漁業生産活動に伴い発生する漁業系残渣について、適正な処理と再利用・再生利用の両観点から対策を検討します。

- ・ 海岸に漂着するごみの処分
- ・ カキ、ホタテ等残渣の再利用及び処分方法の検討
- ・ カキ殻を再利用した魚礁等の検討

【主な取組】

②沿岸資源の安定・増大

◆沿岸資源増大に向け、種苗放流事業を継続します。
また、種苗生産施設により安定した人工種苗生産ができるよう支援します。

- ・ アワビ、ナマコ等の放流事業継続
- ・ ナマコの大型種苗放流と放流数増加
- ・ ウニ種苗生産安定化とナマコ種苗生産確立

【主な取組】

③魚礁の設置

◆魚類の蛸集と増殖を促進し、豊かな海づくりと漁獲向上を目的に魚礁の整備を進めます。

- ・ 涌元地区および小谷石地区への大型鋼製魚礁の設置要望
- ・ 鋼製魚礁底部へのカキ殻設置と、餌料増殖化試験の実施

【主な取組】

④藻場の保全・造成

◆沿岸資源の増大と合わせ、磯谷け対策として藻場の保全・造成を行います。

- ・ 水産多面的機能発揮対策事業による、ウニの密度管理やモニタリング調査
- ・ 新たな藻場の造成に向けた試験的取組

【主な取組】

⑤密漁防止の強化

◆近年増加する組織的・広域的で悪質な密漁を防止し、水産資源を守るため密漁防止対策を強化します。

- ・ 密漁防止に係る巡視活動支援
- ・ 赤外線カメラを搭載したドローンの活用検討

【主な取組】

⑥漁業データベースの構築

◆当町の漁業に係る様々なデータ・資料を整理し、データベースを構築します。また、勘や経験に基づく操業から、データに基づく漁業、養殖業への転換を目指します。

- ・ 科学的根拠に基づく効果的な資源管理と評価
- ・ 海洋水温等測定装置の導入による養殖事業の効率化

Ⅲ. 漁家経営の安定化プロジェクト

漁家経営の安定化と漁業協同組合の基盤強化

◆知内町の漁業生産力を維持するには、漁業者の安定的な漁業所得の確保が求められます。そのためには、漁業生産量の維持・増大、魚価の向上、漁業経費の削減を図る必要があります。ただし、過度な漁獲圧力は、持続的漁業の確立にあたり資源及び漁場管理に負の影響を及ぼすため、漁業生産量の維持・増大の余地は少なく、魚価の向上あるいは漁業経費の削減による効率的な漁家経営の実現がより重要といえます。

また、漁業協同組合においては、組合員に販売事業や指導事業などのサービス提供、漁場の利用調整や資源管理などの多様な役割を担っていますが、漁業者の高齢化、減少が進んでおり、漁協の組合員である漁業者数の減少が続く中、未だ零細な漁協も多く、漁協がその役割を發揮するには、さらなる事業・経営基盤の強化が必要となっています。

近年主要魚種の著しい不漁が続く、漁獲の低迷により、漁協の販売手数料をはじめとした収入が減少しており、そこに新型コロナウイルス感染症の影響も加わり、経営状況が悪化しています。

こうした状況を踏まえ、効率的な経営へ向けた取組みと、漁協による事業改善計画や業務効率化、販売事業の強化等に向けた取組みを支援し、漁家経営の安定化と漁協の経営基盤強化を図ります。

【主な取組】

①漁業関連施設及び機器導入への支援

◆コロナ禍でも漁業経営力を維持強化できるよう、漁業者及び漁協が事業を行うために必要な漁業用機器や水産物の付加価値向上に資する施設・機器等の整備・導入に係る経費に対し支援します。

- ・ 養殖施設の新設、整備支援
- ・ 漁業関連施設の改修、整備支援

【主な取組】

②新養殖魚種の検討

◆本町の養殖漁業の主力の1つとなっているホタテについて、近年へい死が続いていることもあり、漁獲量が減少している。現状の経営状況改善のため、ホタテに依存しない新たな養殖魚種の導入を検討します。

- ・ 新魚種導入へ向けた、魚種選定と養殖試験

【主な取組】

③後継者・担い手対策

◆漁業者の減少・高齢化は著しく、知内漁業の将来を背負って立つ新たな担い手の確保・育成について重点的に支援します。

- ・ 後継者が行う新たな技術習得のための研修や資格取得に対する支援
- ・ 漁協青年部が行う試験事業やPR活動等に対する支援